

第 113 回 令和 7 年 10 月 29 日（水）

今回の大けがで思ったこと。

高校生の文化祭の時、日ごろは部活の友達とばかり一緒にいましたが、クラスの出し物の準備であまり喋ったことのない友人と意気投合しました。

男子 3 人で作業をしましたが、本当に面白くて大笑いしながら展示を作りました。

文化祭が終わって片付けの日。朝登校すると昇降口でクラスの仲間が走り寄ってきました。「昨日の夜、バイクの事故で」一緒に笑いあった友達が塾に行く途中、陸橋をバイクで走行中、正面から走ってきた別のバイクに衝突して亡くなりました。

あまりのショックでしばらく呆然としていましたが、友達と 3 人で事故現場に行って手を合わせ、破片などを拾いました。そのあとの葬儀でお母さんが泣く声を忘れることはできません。

交通事故は自分が気をつけていても相手が突っ込んでくることもあります。これからバイクや車の運転をする人もいるかと思いますが、一瞬で人生が変わってしまいますし、周りの人も巻き込むことになります。くれぐれも交通事故に気を付けてください。

今回は川沿いのアスファルトで転倒しました。手をついて骨折しましたが「交通事故」なみの大怪我と言われました。下り坂でスピードがついていたのでかなりの勢いで前方に投げ出されたのだと思います。

両手、左足、そのあと頭も打って針で縫いましたし手術もしました。でも感じたのは「これは一つ間違えていたら、頭を打って死んでいたかもしれない。」ということです。右手は骨折しましたが顔面とか頭から転んでいたら、これでは済まなかったと思います。

偶然なのでしょうが、この坂は昔の事故現場の陸橋の真下でした。いつも走るとき事故のことを思い出していた場所です。

後になって結び付けているだけだとわかってはいますが、何となく命に関わるケガにならなかったのは友達が救ってくれたような気がします。

命は一つしかありません。交通事故に限らず命は自分一人のものではなく、育ててくれた親御さんや大切な友達のためにも絶対に大事にしないてはいけません。

常にいろいろなことに感謝して生きなければいけないと改めて思いました。